

議 事 要 旨

【日 時】 令和4年9月26日（月） 18:30 ～ 20:30

【場 所】 TV 会議(佐世保市中央保健福祉センター8階 会議室1)

【出席者】 委員6名出席(1名 尾崎委員欠席)

(事務局等) 辻保健福祉部長、井上保健所長、兼次長、八木課長、向坂課長補佐、久地浦主査

(佐世保市総合医療センター) 神崎副理事長、小村事務部長、南川事務部次長、尾崎副理事兼総務課長、寺松経営企画課長、中元総務課課長補佐、坂田経営企画課課長補佐

(北松中央病院) 東山理事長、田中事務部長、前田看護部長、富本経理課長

◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

■議題1 佐世保市総合医療センター令和3年度の業務実績評価について

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑤提供する医療サービスの充実（高度専門医療）

一般人が病院を評価する場合に、あの病院に行ったら治癒率が高い、早期発見の数が高い、或いは、前年度比でこれだけ患者が回復したなど、そういった数値はないのか。

手術支援ロボットやX線装置などの機械を揃えたということは確かにわかるが、一般の患者から見れば総合医療センターのがんに対する充実の高さというようなものが数値的に出てこないのか。(安部委員)

⇒具体的な数字としては回答できない。がんの生存率、患者数の増加などの数値で評価するしかないと思っている。明らかになっているのは、ロボット導入により、患者が、これまで市外の長崎大学病院に相当数行っていたが、当院にロボットを導入したことで、100名近くが手術を行っており、市内での治療ができることはわかりやすいと思う。安部委員が言われるような数値というのは、現在のところないというのが現状である。(総合医療センター：小村事務部長)

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑤提供する医療サービスの充実（高度専門医療）

100名のロボット手術を行ったことによって、その病院に対する信頼度が増して入院患者が増えたというような内容というのは1つの評価に繋がるのではないか。(安部委員)

⇒そのようなこともあり、高度先進医療の自己評価で、A評価を付けた。(総合医療センター：小村事務部長)

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑬医療の質の向上（安全性の高い信頼される医療）

院内研修の受講率が99%ということで、非常に高い受講率となっているが、未受講者の1%は何人になるのか。(橋本委員（委員長）)

⇒職員総数が1,100名なので、未受講者の1%は11名となる。(総合医療センター：小村事務部長)

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑭情報提供の充実（わかりやすい保健・医療の情報発信）

情報提供の充実で、YouTubeチャンネルを開設し動画配信しており、このことが、令和3年度の市民向け講演会の人数の増加に繋がったとある。赤ラベルの2の資料の、44ページに、市民向け講演会の人数があるが、令和2年度の実績値が212名、令和3年度の実績値が1,237名とある。この212名という令

和2年度について聞きたい、これはWEB形式での2回の開催の参加人数ということで、令和2年度からホームページの動画配信はされているが、ここではカウントされておらず、WEB形式での参加人数を記載され、令和3年度は、YouTubeの視聴回数を挙げているという理解でよいか。(橋本委員(委員長))

⇒令和2年度は、ユーチューブによる配信検討は行ったが、年度内に実施できず、WEB形式で2回の開催にとどまった。(総合医療センター：小村事務部長)

◆質問等については、事務局で取りまとめて、私(委員長)と調整のうえ意見書を完成させ、各委員にも送付する。(橋本委員(委員長))

◆一同、異議なし。(各委員)

■議題2 北松中央病院令和3年度の業務実績評価について

○質問・意見なし

◆佐世保市の評価に関しては、評価委員会として意見なしとする。(橋本委員(委員長))

◆一同、異議なし。(各委員)

■議題3 佐世保市総合医療センター第2期中期目標期間の業務実績評価について

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：③提供する医療サービスの充実(がん医療)

近年のがん治療の傾向により相談件数が減っているのはどうか。新型コロナウイルス感染症の影響というのはわかるが、近年のがん治療の傾向というのは、何か進歩してるから相談件数が減るといふことか。(安部委員)

⇒近年の傾向としては、入院から外来治療(通院)へシフトが進んでいるため、入院患者からのがんの相談件数が減っていると理解している。(事務局)

◆佐世保市の評価に関しては、評価委員会として意見なしとする。(橋本委員(委員長))

◆一同、異議なし。(各委員)

■議題4 北松中央病院第6期中期目標期間の業務実績見込評価について

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑤医療の提供(感染症医療・災害対策)

地域住民に対するワクチン接種が、前回は今回も出ている。地域住民に対するワクチン接種を行っているが、ワクチン接種は、例えば地域住民の割合なのか、或いは接種数で評価されるのかがどうなのか教えてもらいたい。(安部委員)

⇒ワクチン接種の評価は、B評価にしたと思う。地域住民いわゆる佐世保市、平戸市、松浦市、佐々町も含めて、令和3年度4月から医療従事者も含めて、8,000~10,000回ぐらい対応しており、おそらく医療機関の中で最も当院が多いのではないかと思います。(北松中央病院：東山理事長)

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑦医療の提供（介護保険サービス）

人材難という言葉が出てきている。人材難というのは、どの種別の人が人材難なのか。（安部委員）

⇒人材難は、居宅介護支援の担当者が定年退職されて、その後の新しい職員というのが、今はいないという状況である。看護師で居宅介護の免許（資格）を持っている看護師が今はいないということ。

（北松中央病院：東山理事長）

○大項目：1. 住民サービス等質の向上 小項目：⑦医療の提供（介護保険サービス）

資料④の4ページで、医療の提供、介護保険サービスがある。その一番下に「令和4年度の目標は人材確保が難しくなってきたことから目標を下げているが」と記載があるが、これは、赤ラベル資料5の20ページ中段の、訪問看護等の主要指標の中で、居宅介護支援事業における居宅稼働件数が、もともと令和4年度目標値として660であったものが、中期計画4年度目標値②として630になっていることについて、指摘してあるのか。（橋本委員（委員長））

⇒令和4年度の実績見込値が目標（660）から大きく下がっている（480）ということについて、説明をしているところであるが、説明文が誤っているため修正する。（事務局）

◆質問等については、事務局で取りまとめて、私（委員長）と調整のうえ意見書を完成させ、各委員にも送付する。（橋本委員（委員長））

◆一同、異議なし。（各委員）

※審議の順番については、都合上 議題2、議題4、議題1、議題3の順番で行った。

以 上